



杉山たかのり ニュース

市議会内 日本共産党市会議員団控室 Tel.35-3368

自宅 西宮市津門仁辺町5-21 Tel・Fax35-1682

団ホームページ <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログ・ツイッター [杉山たかのり](#) で検索

安倍首相の憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認

「海外で戦争する国」を許すな！

5月15日、安倍晋三首相は、記者会見で自らの諮問機関「安保法制懇」の報告書を受け、集団的自衛権行使を認める憲法解釈変更を検討していく考えを明確にしました。

これは、①憲法9条を改変して米国とともに海外で戦闘行動ができるようにする、②自衛隊を海外派兵の軍隊へと大改造する、③国民を戦争に動員するために、秘密保護法、教育制度の改悪、メディアへの権力的介入などをすすめるという三つの柱で「海外で戦争する国」への暴走を開始しています。

さらに安倍内閣は、首相や閣僚が靖国神社参拝に象徴されるように、過去の侵略戦争と植民地支配を肯定・美化する立場にたっており、あからさまな軍国主義復活への暴走にはかなりません。

西宮市は、1983年平和非核都市宣言を行い、「平和を愛する社会を、はぐくみ築くこと」を誓っていますが、市議会では、反動的な動きが強まっています。

平和非核都市宣言文

青い空、緑の大地、そして、おだやかな暮らしは、わたくしたち西宮市民のみならず、平和を愛するすべての人の願いです。そんな平和への願いとはうらはらに、世界はおろかにも人類を何十回も滅ぼすほどの核兵器を蓄積しました。核戦争に未来はありません。恐ろしい核兵器をつくってはならないし、持ってもいけないし、持ち込ませてもなりません。

わたくしたちは、世界中に核兵器の廃絶を強く訴えるとともに、平和を愛する社会をはぐくみ、築くことを誓い、平和非核都市をここに宣言します。

昭和58年（1983年）12月10日

西宮市

西宮市議会ではどのようにあらわれているのでしょうか？

「海外で戦争する国」づくりという問題で、西宮市議会では、どのようにあらわれているのでしょうか。

◎昨年 12 月議会に日本共産党市議団と無所属 2 名で共同提案した「特定秘密保護法の撤回を求める意見書案」には、賛成は 10 名、政新会、公明党、蒼士会、むの会が反対、6 名の議員が退場し、賛成少数で否決されました。また、2013 年 6 月議会に日本共産党市議団が提案した「橋下大阪市長の慰安婦に関する発言に抗議し撤回を求める決議案」は、日本共産党とむの会のみが賛成で、賛成少数で否決されました。市民感覚とは大きく違った結果となるのです。

◎2008 年 12 月議会一般質問で、坂上明議員（政新会）は教育委員会について「不要論があってしかるべしであり、正直、私もそのうちの一人であります」と発言。今年 3 月議会には、「全ての市立学校に国旗（日の丸）の常時掲揚を実施せよ」と主張。

◎2011 年 9 月議会一般質問で、中川経夫議員（政新会）「教育現場では今も違憲の自衛隊というレッテルばかりが横行しているとお聞きします。」と発言。

◎2013 年 6 月議会一般質問で上向井賢二議員（政新会）「南京大虐殺は、中国の情報操作としていまだに世界各地で捏造され続けており、中国は、これにより、村山談話や、首相の靖国参拝中止ばかりでなく、日本の対中低姿勢を引き出すという外交上の大きな勝利を上げた。」と発言。

これらは、ほんの一部です、西宮市議会でも、自民党・政新会の議員を中心に、「海外で戦争する国」に変えるための動きが、「国旗、国歌」「慰安婦、南京大虐殺」など特に教育の分野から、継続して行われています。これらの動きを市民とともに跳ね返していかなければなりません。

5月16日に新市長就任

4月20日投開票で行われた西宮市長選挙で、元市議の今村岳司氏が当選、5月16日に市長に就任しました。西宮市議会は、今村氏らの市長選挙立候補により、42名から40名になりました。政新会9名、公明党8名、市民クラブ改革6名、日本共産党西宮市会議員団と蒼士会が5名、むの会4名、無所属議員3名（5月20日現在）。6月議会は13日から始まり、17日所信表明、23、24日代表質問の予定です。